

2026年3月
(前期比季節調整値版)

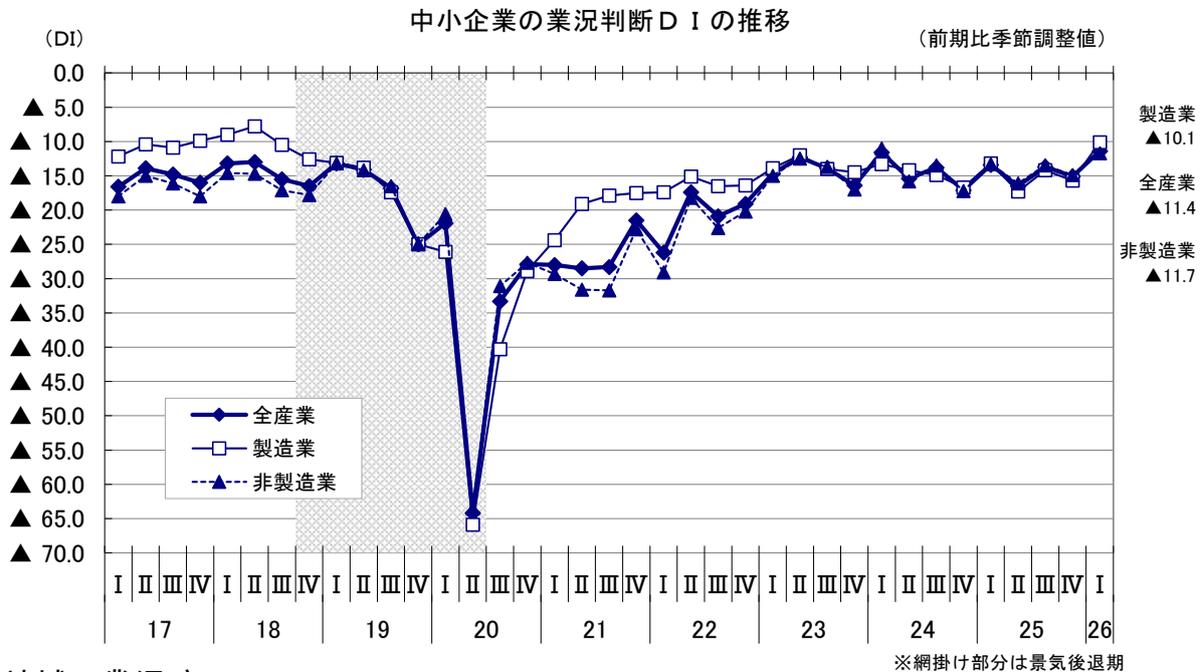
第183回 中小企業景況調査報告書 (2026年1-3月期) 〈全産業編〉

※DIとは…

「好転」と回答した企業の割合－「悪化」と回答した企業の割合。DI値がマイナスの場合は、悪化したと回答した企業の数が多いことを示す。

独立行政法人中小企業基盤整備機構 広報・情報戦略統括室 総合情報戦略課
〒105-8453 東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル
E-mail: chosa@smrj.go.jp
https://www.smrj.go.jp/research_case/survey/index.html

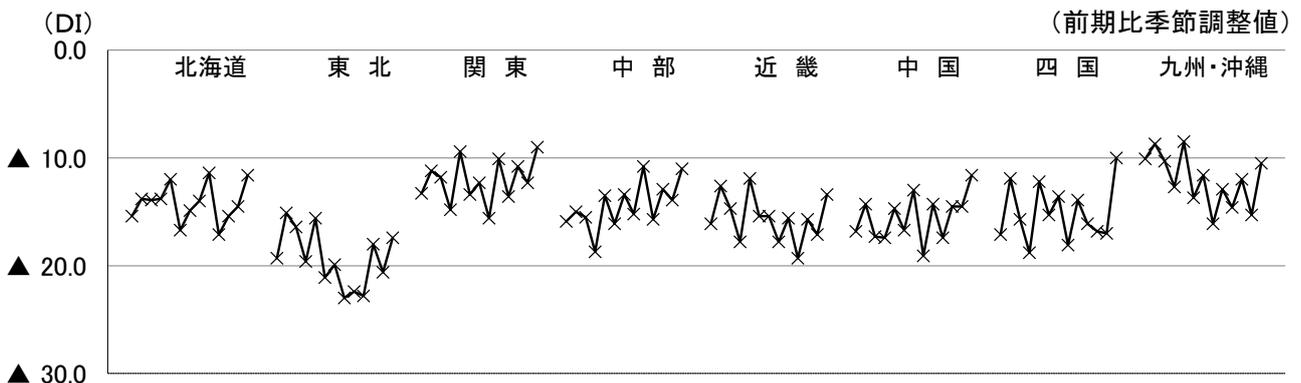
中小企業の業況判断DIは、2期ぶりに上昇した。
前期と比べた全産業の業況判断DIは、2期ぶりに上昇した。(▲15.1→▲11.4)



〈地域の業況〉

四国、九州・沖縄、近畿、関東、東北、北海道、中部、中国のすべての地域でマイナス幅が縮小した。

地域別業況判断DIの推移(全産業) (2023年1-3月期~2026年1-3月期)



(注)1. 地域区分は、各経済産業局管内の都道府県により区分している。

2. 関東には、新潟、長野、山梨、静岡の各県、中部には、石川、富山の各県、近畿には、福井県を含む。九州・沖縄は、九州各県と沖縄県の合計。

3. 業況判断DI=前期に比べて「好転した」企業の割合－前期に比べて「悪化した」企業の割合。

1. 業況判断D I

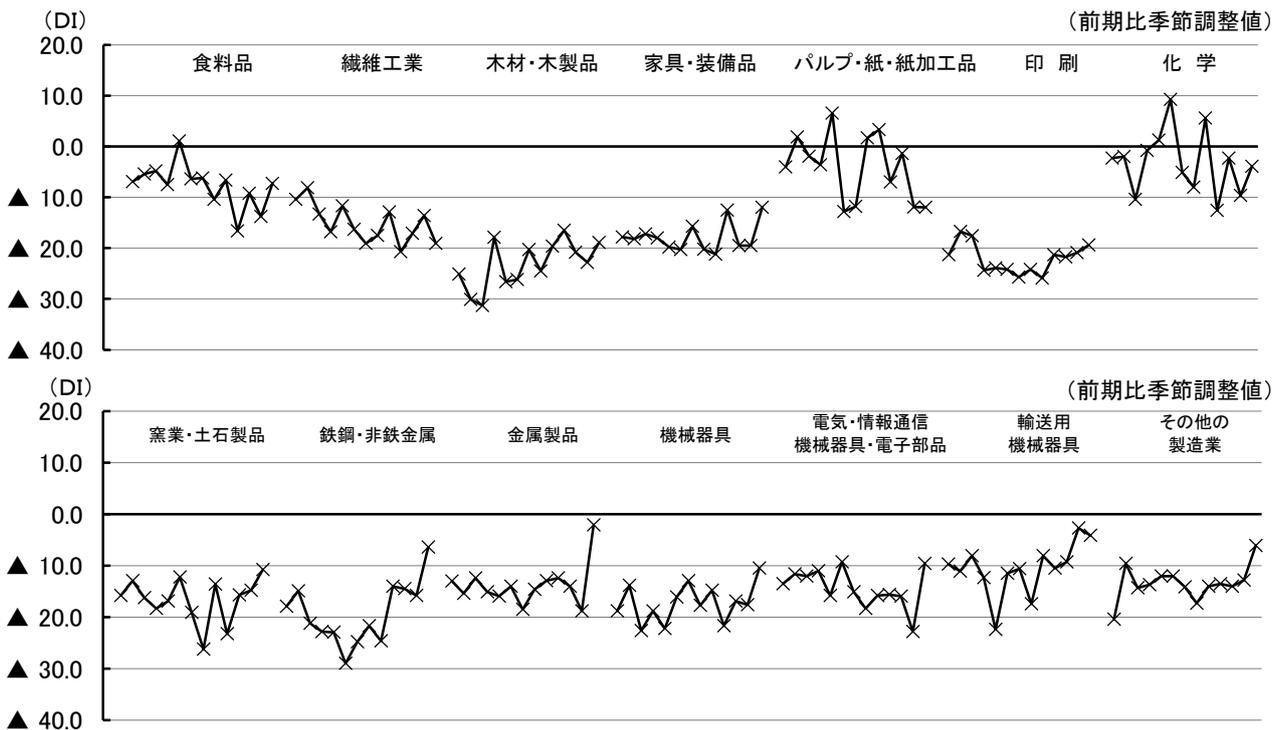
(1) 製造業

製造業の業況判断D I（「好転」－「悪化」）は、▲10.1（前期▲15.7、前期差5.6ポイント増）と2期ぶりにマイナス幅が縮小した。

製造業の14業種の内訳では、金属製品で▲2.1（前期差16.7ポイント増）、電気・情報通信機械・電子部品で▲9.6（前期差13.2ポイント増）、鉄鋼・非鉄金属で▲6.4（前期差9.4ポイント増）など11業種でマイナス幅が縮小した。

一方、繊維工業で▲19.1（前期差5.5ポイント減）、輸送用機械器具で▲4.1（前期差1.4ポイント減）、パルプ・紙・紙加工品で▲12.0（前期差0.1ポイント減）など3業種でマイナス幅が拡大した。

製造業 業種別 業況判断D Iの推移（2023年1-3月期～2026年1-3月期）

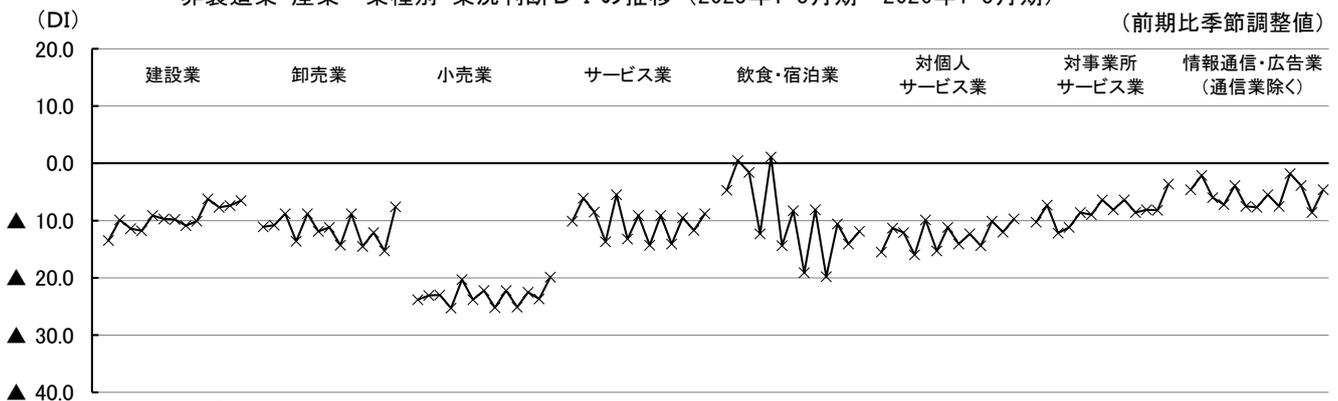


(2) 非製造業

非製造業の業況判断D Iは、▲11.7（前期▲14.9、前期差3.2ポイント増）と2期ぶりにマイナス幅が縮小した。

産業別に見ると、卸売業で▲7.6（前期差7.7ポイント増）、小売業で▲19.9（前期差3.8ポイント増）、サービス業で▲8.8（前期差2.9ポイント増）、建設業で▲6.5（前期差0.9ポイント増）とすべての産業でマイナス幅が縮小した。

非製造業 産業・業種別 業況判断D Iの推移（2023年1-3月期～2026年1-3月期）

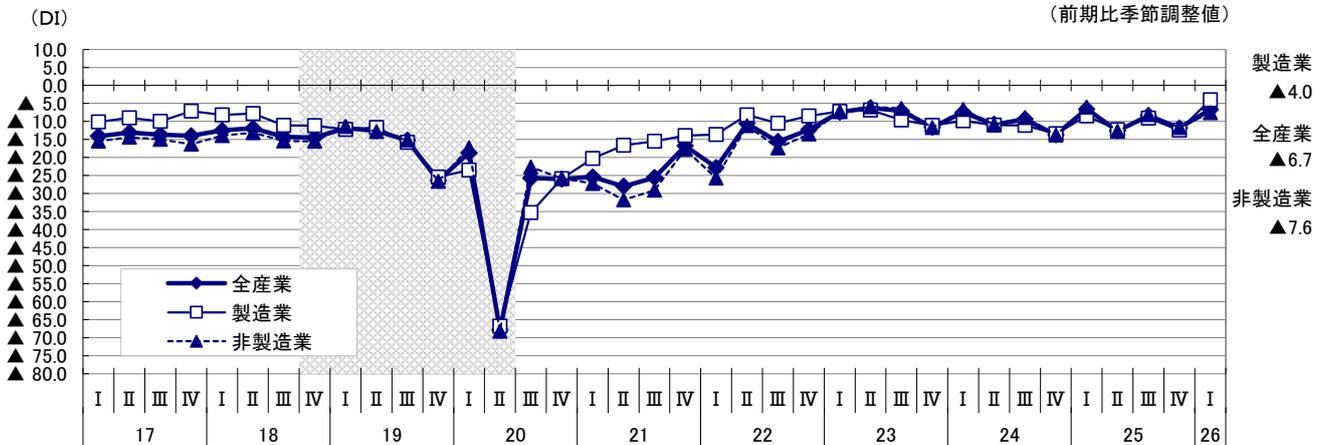


(注) 「対個人サービス業」は、洗濯・理容・美容・浴場業、自動車整備業等の9業種。
「対事業所サービス業」は、道路貨物運送業、倉庫業、廃棄物処理業等の10業種。

2. 売上額D I

全産業の売上額D I（「増加」－「減少」）は、▲6.7（前期▲11.8、前期差5.1ポイント増）と2期ぶりにマイナス幅が縮小した。

産業別に見ると、製造業で▲4.0（前期▲12.4、前期差8.4ポイント増）、非製造業で▲7.6（前期▲11.7、前期差4.1ポイント増）といずれもマイナス幅が縮小した。

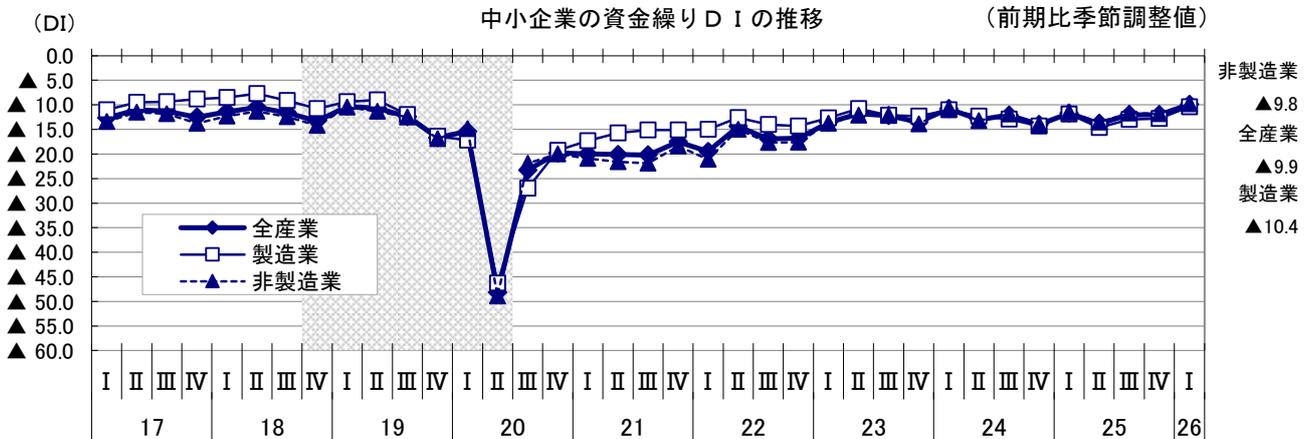


3. 資金繰りD I

中小企業の売上額D Iの推移

全産業の資金繰りD I（「好転」－「悪化」）は、▲9.9（前期▲12.0、前期差2.1ポイント増）と2期ぶりにマイナス幅が縮小した。

産業別に見ると、製造業で▲10.4（前期▲12.8、前期差2.4ポイント増）、非製造業で▲9.8（前期▲11.8、前期差2.0ポイント増）といずれもマイナス幅が縮小した。



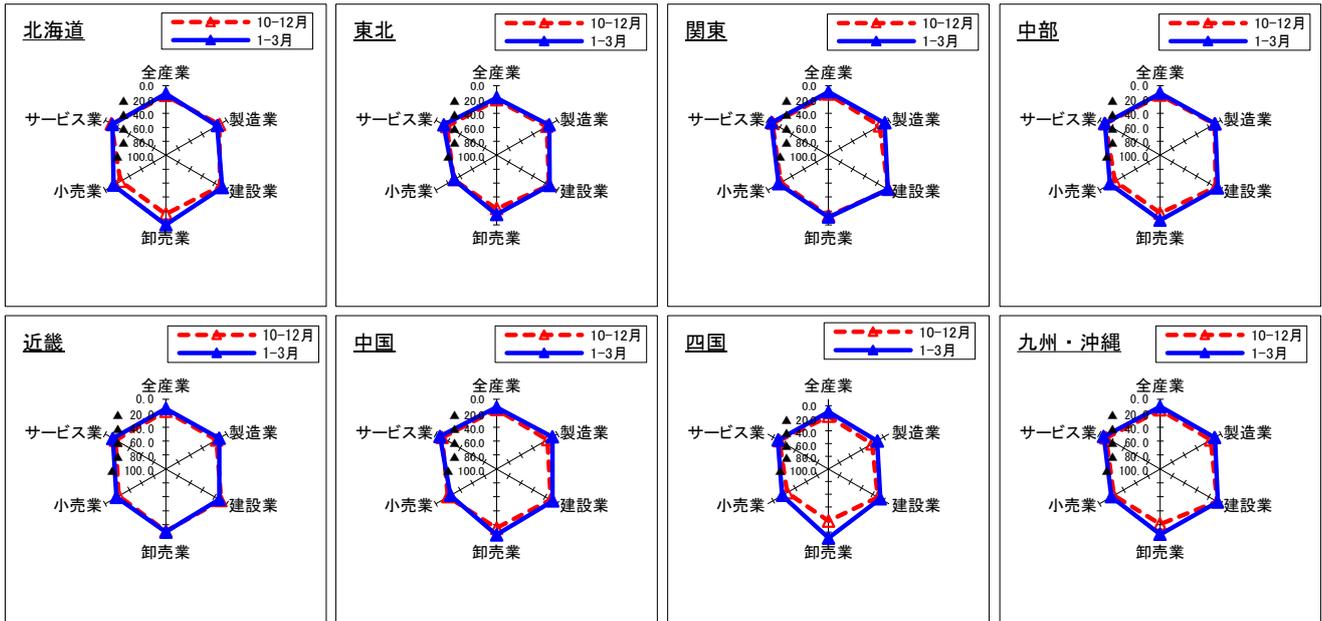
4. 設備投資動向

設備投資を実施した企業割合は、全産業で17.0%（前期差2.4ポイント減）と低下した。

設備投資実施企業割合（実施企業／回答企業×100） 単位：%

	実 績				来期計画	
	2025年 1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	2026年 1～3月期	4～6月期
全 産 業	15.4	17.8	18.7	19.4	17.0	19.8
製 造 業	19.3	20.2	21.9	22.4	21.6	25.5
建 設 業	19.1	24.0	23.1	23.6	22.5	22.3
卸 売 業	18.6	20.6	22.7	23.1	18.6	22.4
小 売 業	9.4	12.3	13.1	13.9	11.1	13.7
サービ業	14.6	17.1	18.1	18.6	15.4	18.6

5. 各地域における産業別の動向

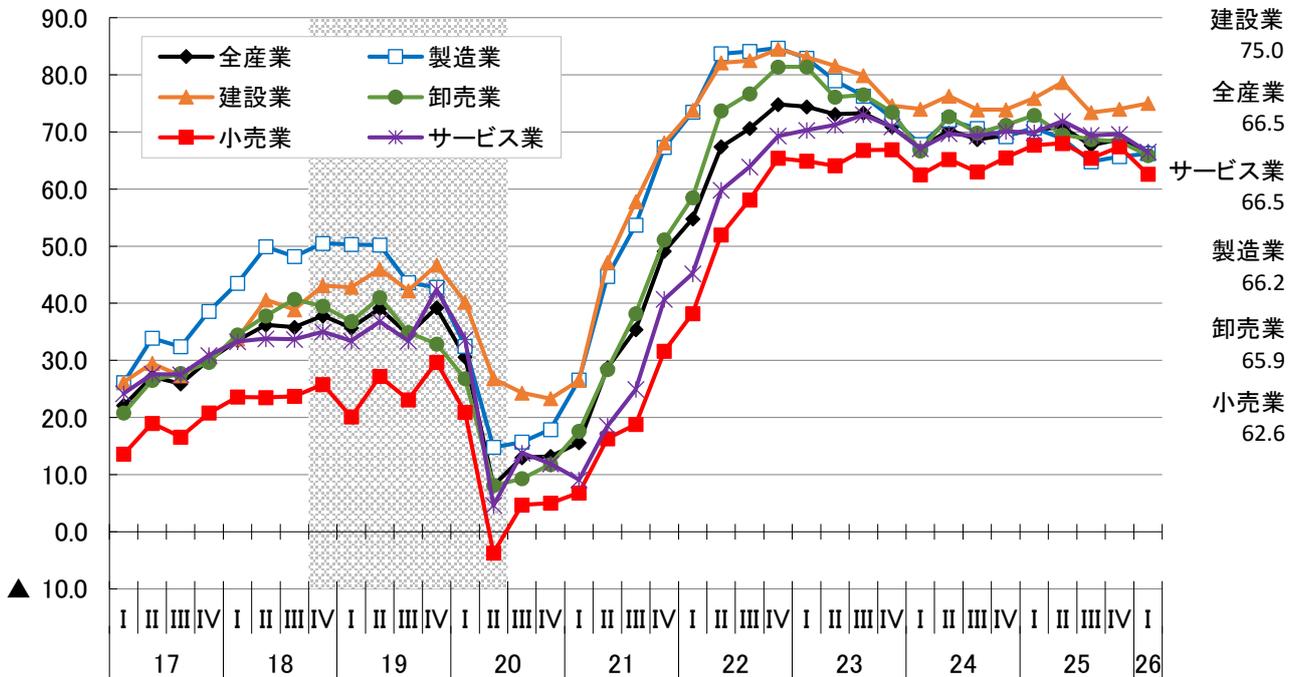


<トピックス> 原材料・商品仕入単価D I（前年同期比）の推移について

全産業の原材料・商品仕入単価D I（「上昇」－「低下」、前年同期比）は、66.5（前期差2.2ポイント減）と低下し、2期ぶりにプラス幅が縮小した。

産業別に見ると、建設業で75.0（前期差1.0ポイント増）、製造業で66.2（前期差0.5ポイント増）とプラス幅が拡大し、小売業で62.6（前期差4.8ポイント減）、サービス業で66.5（前期差3.1ポイント減）、卸売業で65.9（前期差2.4ポイント減）とプラス幅が縮小した。

(DI) 産業別原材料・商品仕入単価D Iの推移 (前年同期比)



[調査要領]

- (1) 調査時点：2026年3月1日時点
- (2) 調査方法：原則として、全国の商工会、商工会議所の経営指導員及び中小企業団体中央会の情報連絡員が訪問面接し、聴き取りによって行った。
- (3) 回収状況：中小企業基本法に定義する全国の中小企業で、調査対象数18,825のうち有効回答17,895（有効回答率95.1%）